

UNITE
FOR
GOOD

2025～2026年度
RI会長メッセージ

よいことのために手を取りあおう

WEEKLY REPORT

SEPTEMBER.21.2025 第2159回
OCTOBER.1.2025 第2160回

UEDA EAST
上田東ロータリークラブ

第2600地区 東信第2グループ 創立1978.6.14

会長／山寺高太郎 幹事／倉島博 会報委員長／松山賢太郎

例会：毎週水曜日 午後12:30～1:30

会場：上田東急REIホテル

事務局：上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-21-3500 FAX 0268-21-3501

URL: <http://www6.ueda.ne.jp/~uedaeast-rc/>

E-mail: uedaeast-rc@po6.ueda.ne.jp

第2160回例会 ボーイスカウト・ガールスカウト指導者をお迎えして 10月1日(水)

■ボーイスカウト上田第5団 団委員長 出田行徳様



日頃から、市内のボーイスカウト、ガールスカウトへのご支援に御礼申し上げます。

現在、上田以内では、ボーイスカウト2個団、ガールスカウト2個団が、体験活動を通じて、次代を担える青少年健全育成活動続けてきております。

これから、それぞれの団の報告もありますが、なぜ複数の団があるのかということ、過去には上田以内のボーイスカウト、ガールスカウトは多くの青少年が活動していて、ボーイスカウトに関して言いますと、昭和25年から活動してきた上田第5団の在籍者数が200名を超え、平成4年には上田第13団が、平成7年には上田第14団が、ハチの巣の分封のように新団ができ、それぞれ数十名から100名を超える加盟員が活動していました。ガールスカウトも同様に昭和49年に発足した長野県第5団から、5年後には長野県第25団が発足するなど、大きく加盟員が増加しました。しかし、現在は、内部の問題として、指導者、運営者の減少、プログラムのマンネリ化などを改善しようとして頑張っていますが、外部要因の、子ども並びに保護者の皆様、社会状況の変化、少子化などによって、苦戦しています。

本日、引き続き、貴クラブを始めとした地元のロータリークラブの皆様（あるいは個人的に）から助成金を頂戴できることは、経済的な支援以上に、私たちスカウト運動に携わる者からすると、地域の皆様からお認め戴いているということが、ボランティアで活動している身にとって大きな励みになります。

活動については、現在、上田第5団は、青少年(スカウト)が小3～大学生、16名、成人指導者が21名、合計37名の在籍者で活動しています。キャンプやハイキング、募金活動、ごみ拾いなどの活動をしているイメージが強いと思いますが、現在、社会要求への対応ということで、防災、減災をテーマに活動していて、同じハイキングでも、地図を使いポイントを探すのですが、市内の緊急避難場所にはどんなものが備蓄されているか実際に行っ

調べるとか、アンダーパスをポイントにして実際に見て危険性を考えると、防災マップで、水害、土砂崩落の危険性のあるポイントを実際に訪ねて目で見て、その危険性を感じるなど、植物や動物を探すということだけでなく、実際に自分の身の回りの防災を意識する活動をしています。

今後も、よろしくご支援、ご指導を賜りたくお願い申し上げます。ありがとうございました。

■ボーイスカウト上田第13団 団委員長 小川 實様



本年も我々ボーイスカウト、ガールスカウトの活動支援金を賜り、ありがとうございます。青少年育成の為、大切にさせていただきます。

私たち上田第13団は、現在スカウト9名、隊指導者13名、団委員5名の合計27名で活動しています。コロナの蔓延も収まり野外での活動も出来るようになりました。

野外活動の一番の楽しみは、テントを張ってのキャンプ、野外での炊飯、キャンプファイヤー（営火）などです。そのプログラムを行うに当り、キャンプ場、スカウトハウス内資材庫の整理をする必要になっておりました。コロナの時期にプログラムが組めなかったせいで乱雑になっていたのが原因です。しかし、令和6年に全国のボーイスカウト連盟で災害対応タスクチームを立ち上げ、令和7年活動計画の作成と県連総会をもって活動開始となりました。

長野県連盟では、事務局を連盟内に置き長野県を5地区に分け、近年頻発する大規模災害へ備えた組織づくりがまとまりました。社会全体が大規模災害で緊急の対応が必要とされていますが、スカウト活動に於いても、災害発生時の地域貢献が期待されており、平時からの準備が不可欠です。

平時に於ける検討事項は（1）訓練、（2）資材機材の準備、（3）連絡網の整備、（4）地域連携と、課題がとり上げられました。13団としては、今まで見過ごされてきた（2）資材機材の準備として、スカウト備品やスカウトハウス内の整理を行い、災害対応に必要な資機材の

確認の為、資機材を一時搬出そして点検（不用品、廃棄物の選別）を行い再度格納と、資材の整備を行い、有事の災害にも最小限ですが対応できるようにしました。その結果、楽しいスカウト活動ができるようになりました。限りある資材を大切に使用し、活動していきたいと思えます。今後ともご支援よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。

■ガールスカウト長野県第25団 団委員長 村瀬知穂様



本年度も上田東ロータリーロータリークラブ例会にご招待いただきありがとうございます。また毎年、手厚いご支援をいただき、誠にありがとうございます。

ガールスカウト長野県25団の団委員長村瀬です。昨年度まで長年にわたりスカウト指導をしていただいたリーダー2名が勇退され、世代交代ではないですが、今年度より新体制となり私を含め皆スカウトの保護者ではありますが、リーダー4名体制で、日々試行錯誤しながらスカウトのためになればと思い一緒に活動しています。スカウト数は昨年度とかわりなく、新規入団者がいない状況ではあります。スカウト数は小学2年生～高校3年生まで13名です。登録数としては保護者と成人会員が18名になり、合計35名となります。

25団では今年度、年間通して防災のことについても学んでいます。小学生部門では、防災ポーチをフェルト地で作り、中にはケガをした際に手当ができるもの、カイロや必要なものをいれました。昨日の集会で防災リュックについても、自分たちで必要なものなどを考え、準備していきます。中学生高校生部門は7月に東京の「そなエリア東京」へ行き、防災について学んで来ました。こちらで体験したことを、小学生部門のスカウトたちに分かりやすく経験できる集会を11月に計画しています。そのために、8月からの集会では自分たちでプログラムを企画し、準備を進めています。部門ごとの活動が多いですが、このようにスカウト全体で活動できることが、小学生のスカウトからは、中高生のスカウトはお姉さんの存在であり、憧れやロールモデルとしても大切な存在と考えています。各部門で活動内容を共有できると、長くスカウト活動が続ける良さを知ってもらえればと思っています。

また長野県連盟関連では8月8日～11日に連盟キャンプが戸隠で行われました。県内よりスカウトから成人までの参加者が140名近くになりました。小学4年生以上の参加で25団からは、スカウト4人と成人1人の5名で3泊4日で参加しました。初日の開会式までは晴れていましたが、テント設営前に通り雨、その後は終了の4日目まで毎日雨の中のキャンプとなり、4日間カップと長靴で過ごすのも珍しいキャンプとなりました。今回はコロ

ナ禍で通常のキャンプを体験できていなかったスカウトが多い中、キャンプでの基本を一つひとつ大切にしたい企画がなされており、全日程も時間に余裕のある行程であり、また3日目にはオープンパーティーが実施され、今回参加できなかったスカウトやガールスカウト活動に興味のある一般の子どもと家族が参加できるようになっており、ロープワークやテントをたてる際のペグ打ち体験やクラフトなど、色々と工夫がされていました。

ガールスカウトは少女たちが学校以外の場所で活躍できる場として、今後も活動していきたいと思えますので、ロータリークラブの皆様には引き続きお力添えをいただきながら、日本の将来を担う子供たちにとって、また、地域にとって意義ある活動を継続していきたいと思えます。今後とも、よろしくお願い致します。

■ガールスカウト長野県第5団 団委員長 岩岡智子様

毎年貴重な助成金を頂戴し、誠に感謝申し上げます。この度は、体調がすぐれず欠席させていただきます。申し訳ありません。昨年、蓑輪さんに声をかけていただき、貴重な体験もできましたこと御礼申し上げます。

2025年度の活動をご紹介します。

○ブラウニー4名、ジュニア7名、レンジャー2名とスカウトが13名に成人で35名の登録です。（リーダーは2、3名でほとんど一人のリーダーが主になり、集会を行っています。10月5日に上田でリーダーになるための講習会があり、団から一人参加してくれるので楽しみです。）
○年度末の3月には団旅行を行い。スカウト11名、成人5名で東京1泊の旅をしてきました。

○5月5日は、恒例の「こどもまつり」が上田城址公園で開催され、今年もカーネーション作りをし、スカウトが来てくれた子供に教えていました。スカウト8名、成人8名（今年は参加者が多く助かった）。

○5月末の集会は、上田の城下町歩きをしました。体育館から蓑輪さんの公園？で菜の花がどうなったか見て、ぐるっと旧家の静かな小径を歩きました。

○8月5日～8日はレンジャーの全国キャンプが戸隠キャンプ場であり、団から1名参加。

8月8日～11日、ジュニア以上の長野県連盟キャンプ戸隠で、団から6年生5名レンジャー1名参加。6、7月は連盟キャンプの準備があり、ほとんど集会できず。

○東信地区で、7月6日に小諸で訓練キャンプを合同で行い、テントとクッキングテントを立てる事前準備ができた。

○9月21日はブラウニーも久しぶりの集会で、お彼岸でもあるし10月の十五夜を前にお団子作りをした。（丸いお団子と里芋に見立てるお団子を作る予定が、自由にいろいろな形のお団子になってしまいました）

○10月26日、小諸の水明小学校をお借りして、防災について（火山）学ぶ東信地区のガールスカウトフェス

ティバル開催。

○11月8日・9日、望月青少年の家でブラウニーラリーがあり、団から4人のブラウニーが参加予定。

今後は人形供養・さつまいも掘り・クリスマス会・ハ

ンドインハンド・新年会、2月は東信地区でワールドシンキングデイ、3月フライアップ式と一年が瞬く間に過ぎていきます。丈夫な体で健康で元気でいたいと思う日々です。今後とも宜しくお願いします。

例会日誌 10月1日(水) 曇り 2025～2026 No.11

- 司 会 橋詰洋平君
- 斉 唱 「君が代」「あしたはもっと」
- ゲ ス ト 出田行徳様(ボーイスカウト上田第5団団委員長)
小川 實様(ボーイスカウト上田第13団団委員長)
村瀬知穂様(ガールスカウト長野県第25団団委員長)
- 10月慶祝 ※次号に掲載します
- ラッキー賞 橋詰洋平君
- 友 愛 賞 出田行徳様(小田中君より「富士山5号目の空気缶」とお酒)
小川 實様(柳澤誠君より東京土産のお菓子)
村瀬知穂様(蓑輪君よりコシヒカリの新米)
久保友幸君(工藤君より舞鶴のお酒)



■会長挨拶

山寺 高太郎 会長



9月21日(日)中央公民館で行われたロータリー財団補助金事業の、上田東ロータリークラブ主催、上田市北部地区まちづくり協議会共催の「救急救命講習会」におきましては、多くの会員の皆様

のご協力・ご支援を頂きまして、無事開催をすることができました。当初予想を超える約80名の自治会、消防団、市危機管理防災課、消防署あるいは長野救命医療専門学校の皆様にご参加頂き、大変好評でした。

西藤直義防災士のご指導のもと、半年を超える準備期間のなかで、実行委員会を中心とした上田東ロータリークラブの実力がよく発揮できたのではないかと思います。複数の組織が参加する事業においてはそれぞれの組織の事業計画が前年のうちに策定される為、各組織の計画に載せてもらうことや、その際にロータリークラブとは?の説明も必要で良い経験をさせて頂きました。

26日(金)には、米山奨学生のスンドイ オユンチメグさんの卒業を祝い、又日本を離れることもあわせてお祝い兼送別会をさせて頂きました。お祖父様、ご両親様、2人の妹さんが来日され、共にお祝いをさせて頂きつつ増田カウンセラーの労をいたわる良い送別の宴となりました。ご参加の皆様、ありがとうございました。

9月27日(土)には、上田東急REIホテルを会場とした第36回RYLAに参加させていただきました。丸子ロータ

リークラブさんがホストクラブで、なにかと運営にはご苦労をされていた様ですが、約70人の青少年が集まり、それぞれが若い立場から今時の風潮を背景にした議論をされていました。当クラブ関連でご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。

今月は、8日に山崎ガバナー補佐をお迎えしてのガバナー補佐事前訪問例会及びクラブアッセンブリー、10月29日に上田六文銭クラブ合同の小林ガバナー公式クラブ訪問があります。どうぞよろしくお願いいたします。

尚、11月16日(日)松本市キッセイ文化ホールで開催される地区大会に積極的なご参加をお願いいたします。

■幹事報告

倉島 博 幹事

- ・米山奨学会より、昨年度の事業報告書、寄付金マニュアル、そして豆辞典が会員数分が届く。
- ・第2回クラブサポートミーティングのご案内が届く。

10月8日(水) 17:00～18:00 オンラインにて

- ・BS日本連盟より活動報告書と支援依頼が届く。

■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	52	49	17	—	65.31%
前々回	52	48	17	10	85.42%

ニコニコBOX

(敬称略)

出田行徳様、石井、上原、小田中、久保、倉島、後藤、小林関、滝澤(修)、玉井、田守、塚田、手塚(た)、中嶋橋詰(洋)、舟見、増田、蓑輪、宮下(博)、村上、母袋(創)母袋(卓)、柳澤亨、柳澤誠、山寺、渡辺

※出田行徳様/本日、お世話になります。

※蓑輪佳明君/ボーイスカウト・ガールスカウトの皆さん、ようこそ!

※母袋創一君/ボーイ・ガール各スカウトの皆様、ようこそいらっしゃいました。

※田守正彦君/周年祝い頂きました。入会したばかりのような気がしますが…。

※増田篤子君/ステキなお花をありがとうございました。

※母袋卓郎君/救急救命講習会はロータリーらしい素晴らしい事業でした。皆さんお疲れ様でした。R財団寄付をよろしくお願い致します。

※柳澤 誠君/RLIに参加。一日大変勉強になりました。

※渡辺敏成君/大学OB対抗ゴルフ大会でシンペリですが10位になりました。賞金が2000円でしたので、投入します。

本日の金額/41,000円 累計/376,000円

第2159回例会 R財団補助金事業「上田市北部自治会救命講習会」 9月21日(日)

「災害時に対応するための、救命方法を学ぼう」をテーマに、救命講習会を開催しました。上田市北部地区12自治会のリーダーを対象として学んだことを自治会に戻って広めていただこうというねらいです。上田中央消防署救急係の皆さんを講師として救命の仕組みやAEDの使い方などを実践して学びました。約80名の参加があり、いろいろな団体と協働することができ、充実した活動となりました。

【会場準備】【開会式】



【救命講習会】

救命のポイントについて説明を受けたあと、グループごとに一連の動作やAEDの使い方を実践。私たちの勇気が命を救うというお話に気持ちが引き締められました。



【包帯の巻き方・実技】【自治会に救急箱セット寄贈】

長野救命医療専門学校の皆様の指導で実践。終わりの会では、12自治会とまちづくり協議会に救急箱セットを寄贈。今後に役立てていきたいとお話でした。



■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本 日	52	48	31	—	35.42%
前々回	52	48	23	17	87.50%

●米山奨学生「メグちゃん」送別会開催 (9月26日・金)



オюнチメグさんの送別会が「Maーのかまど」で開催されました。モンゴルから、ご両親、お祖父様、妹さん2人も来日され、歓迎の宴となりました。お土産の「馬乳酒」や、メグちゃんとお母様が作ってくれた「モンゴル餃子」も美味しく頂きました。また奨学会からの修了書とカウンセラー感謝状も渡されました。

【オюнチメグさんの『米山奨学会提出レポート』より】

私は、人生の豊かさは予測不可能な混沌にあると考えています。たとえば、間もなく爆発する火山があるとしましょう。その火山は一瞬で美しい風景を破壊してしまうかもしれません。爆発が起これば何がどうなるかは恐ろしくて予測できません。しかし、その火山こそが景色を形づくる要素のひとつでもあり、存在自体が世界の仕組みを表しているのです。

私の人生を振り返っても、留学試験の不合格や新型コロナウイルスの流行、単位認定の誤りによる卒業延期など、まるで火山が噴火した後のような混沌に何度も直面しました。特に奨学金を失って絶望していた時、米山ロータリーの皆様に助けていただき、まるで新しい景色が開けました。カウンセラーやクラブ会員の方々に蛍や祭りへ連れて行っていただいたことは、日本に来る前に抱いていた期待を思い出させ、学ぶことの喜びを取り戻すきっかけとなりました。「なぜ私を助けてくださるのだろう」と思った日もありましたが、その優しさに触れ、私もいつか人を助ける人になりたいと強く思うようになりました。(中略)

私は間もなく卒業し、モンゴルへ帰ります。これから何が待っているのか不安もありますが、両親、先生方、そしてロータリーの皆様に出会えたことで、この世界に大きな期待を持てます。本当にありがとうございました。これからもがんばります。



【次週のプログラム】 10月15日(水)・22日(水) 休会、29日(水) ガバナー公式訪問(3F)